

鶴居 タンチョウ 検索

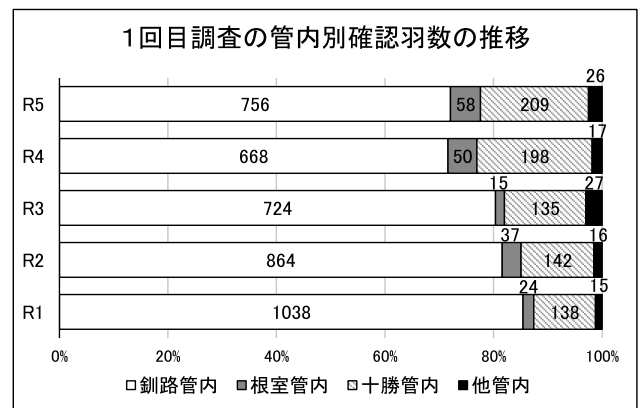
## タンチョウの数かぞえ調査の結果

12月5日に実施されたタンチョウの数かぞえ調査（正式名はタンチョウ越冬分布調査／北海道実施）の全道結果が発表されました。また、1月24日に2回目調査が行われ、村内の集計が終わりましたので、あわせてご報告します。

1回目調査では、全道で1,049羽が確認されました。研究者による調査では1,800羽程度が生息していることがわかっていますので、半数程度しか確認できなかったこととなります。この時期は、繁殖地に居残っているタンチョウも多いので羽数の把握が困難なのです。ただ、道内の分布状況を把握するうえでは参考になります。釧路、根室、十勝管内だけでなく、少数ではありますが、宗谷、日高、胆振、空知各管内でも生息が確認されました。そのままそれぞれの管内で越冬するかどうかは2回目調査で明らかになるでしょう。

2回目の調査時はおおむね越冬地への移動が済んでおり、給餌場をはじめ人目に触れやすい場所に集まりやすく、1回目よりも羽数の実態を把握しやすい時期です。鶴居村では、上幌呂地区以外の各地区で成鳥613羽、幼鳥67羽、不明3羽、計683羽が確認されました。令和2年度の698羽に次ぐ過去2番目に多い記録です。調査前日にこの冬一番の大雪が降り、あまりえさが食べられなかったのか、当日の朝は厳しい冷え込みにもかかわらず、いつも以上に給餌場への集まりが良かった印象です。鶴見台とサンクチュアリがある下雪裡地区と中雪裡地区だけで全体の8割以上が確認されました。また、支幌呂地区ではTMRセンター等で複数の小さな群れが確認され、過去最多の32羽が確認されました。一方で、一年を通じて農場敷地内等に居つくタンチョウが多い下久著呂地区では、ねぐらとなる河川の凍結等の影響でしょうか、年々確認羽数が減っています。

この調査の結果は、その年の気候や当日の天候等に大きく左右されます。長い目で推移を見ていく必要はありますが、少なくとも村内全域に生息していることは間違いありません。一方で、村内の越冬個体数は700羽前後が頭打ちで、これ以上爆発的に増えることはないと思います。



## 2回目調査の村内集計結果(地区別)

調査地区	調査場所数	調査人数	確認羽数									
			R1計	R2計	R3計	R4計	R5計	成鳥	幼鳥	不明		
1 中久著呂	2	2	5	2	7	10	5	5	0	0		
2 下久著呂	3	3	115	85	59	49	44	40	4	0		
3 茂雪裡	1	1	3	4	3	3	7	4	3	0		
4 支雪裡	2	2	0	0	5	5	3	0	0	3		
5 中雪裡	12	21	161	231	170	171	204	189	15	0		
6 下雪裡	9	15	283	292	337	287	357	323	34	0		
7 新幌呂	2	2	3	2	2	0	2	2	0	0		
8 上幌呂	1	1	2	6	0	3	0	0	0	0		
9 支幌呂	3	4	11	31	25	26	32	28	4	0		
10 茂幌呂	1	2	0	1	6	2	3	2	1	0		
11 中幌呂・中幌呂下	5	5	24	35	27	18	22	17	5	0		
12 下幌呂・温根内	6	7	4	9	6	5	4	3	1	0		
合計	47	65	611	698	647	579	683	613	67	3		

※文中及び図表の羽数はすべて野生個体の羽数です